

図枠

目 次

1.図枠の作成	2
レブロの作図空間	
図枠の作成	
2.図枠の文字	5
図面のプロパティの設定	
図面のプロパティの参照	
図面のプロパティの記入	
3.図枠の登録	12
図枠の登録	
4.登録した図枠の読み込み	14
登録した図枠を読み込む	
登録した図枠を新規図面に設定する	
5.図枠の編集	18
登録した図枠の上書き	
登録した図枠名の変更	
登録した図枠の削除	
6.図枠の参照	21
7.図枠ファイルの保存・読み込み	24
図枠ファイルの保存	
図枠ファイルの読み込み	
[設定]から図枠集の保存と読み込み	

更新日：2023/5/15 Rebro2023対応

1.図枠の作成

レブロの作図空間

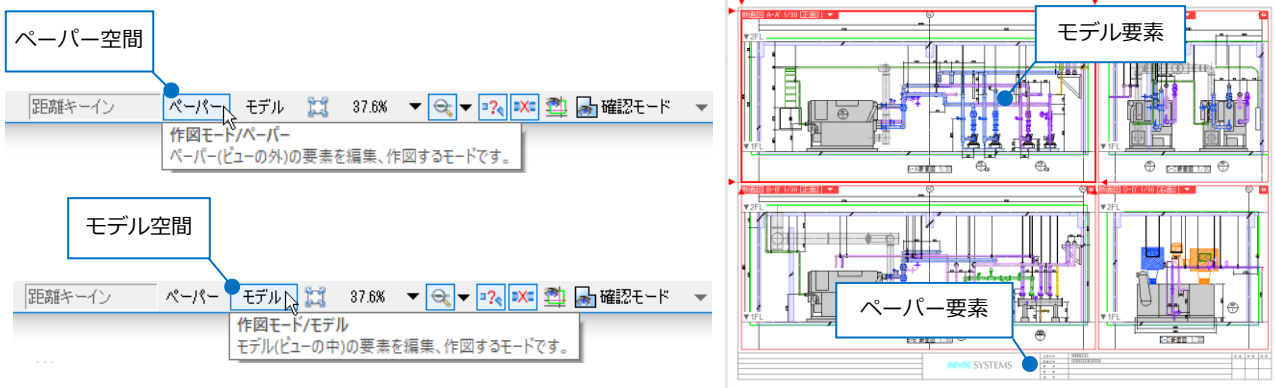
レブロには3次元のモデル空間と2次元のペーパー空間があります。

モデル空間はビューを通して表示することができ、ビューの縮尺や視点方向が反映されます。

ペーパー空間はレイアウト上の尺度1:1の2次元空間で、ビューに関わらず表示することができます。

3D図形や配管、ダクト、電気ルートなどはモデル空間に、図枠はペーパー空間に作図します。

[ペーパー]/[モデル]のボタンで各作図空間の切り替えができます。



図枠の作成

ペーパー空間で直接ペーパー要素として図枠を作図する方法と、モデル空間にある汎用図形や文字などのモデル要素の図枠をペーパー要素に変換する方法があります。

ペーパー空間に作図する

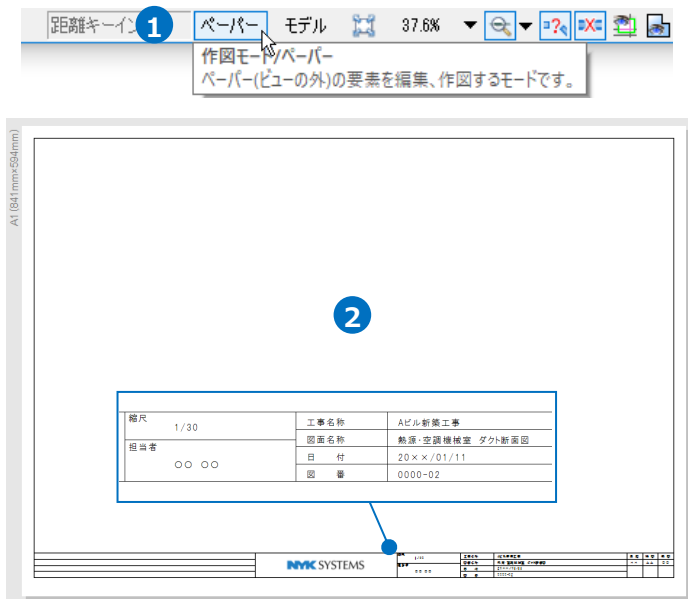
ペーパー空間に2D図形の線や文字で図枠を作成します。

- 1 [ペーパー]をクリックして[ペーパー]モードに切り替えます。

- 2 [図形]タブ-[線]や[文字]など2D図形を使用し、図枠を作図します。

Memo

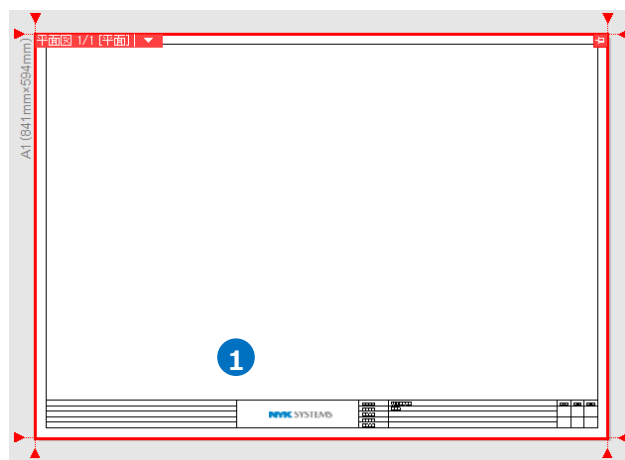
ペーパー空間に図枠以外の要素がある場合、図枠の要素をすべて同じレイヤーで作図すると、図枠の登録時にレイヤーを選択して登録することができます。(図枠の登録については、p.12 参照)



ペーパー要素に変換する

DWGファイルなど他のCADソフトで作成された図面の図枠や、モデル空間で作図された線や文字をペーパー要素に変換し、図枠として使用します。

- 1 モデル要素の図枠を表示します。



- 2 [ホーム]タブ-[図枠化]をクリックします。

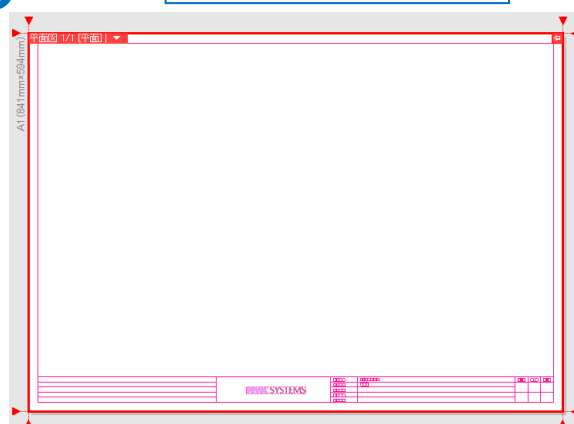


- 3 変換後のレイヤーを指定し、図枠として使用するモデル要素をすべて選択します。



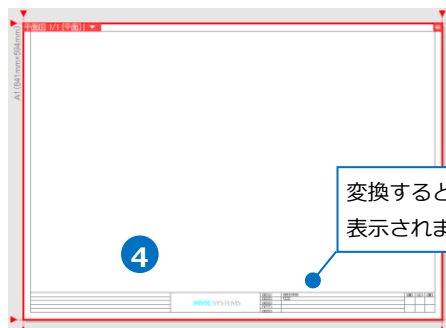
変換後のレイヤーを指定します。

3



- 4 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。

→選択したモデル要素がペーパー要素に変換され、指定したレイヤーに移動します。



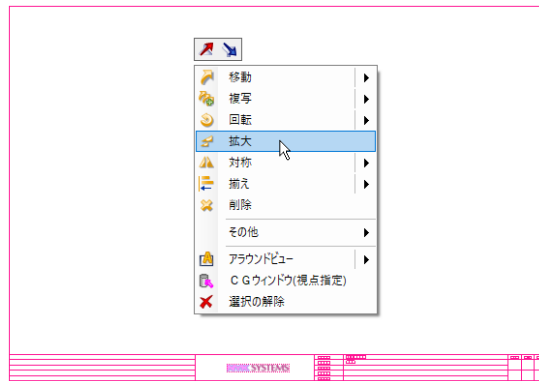
変換すると、薄いグレー色で表示されます。

③で指定したレイヤーにまとめられ、ペーパー要素に変換されます。

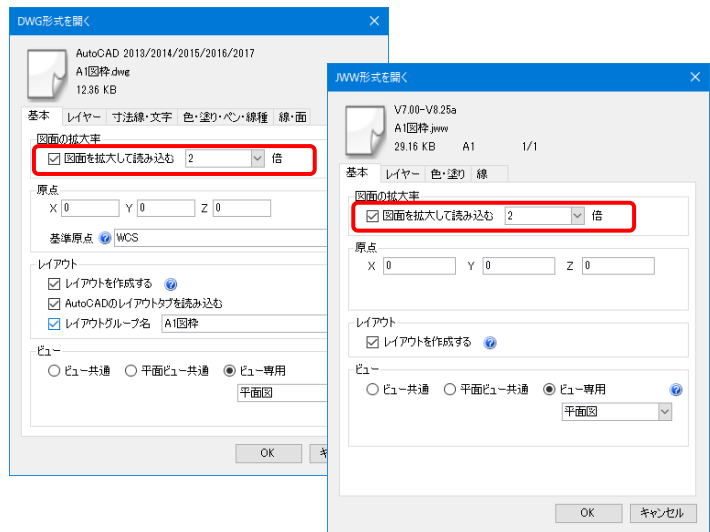


- 補足説明

用紙の大きさに対して図枠の大きさが合っていない場合は、[拡大]コマンドで図枠全体の大きさを拡大・縮小することができます。



DXF/DWGやJWWファイルの図枠の場合は、ファイルを開く際に[DXF/DWG形式を開く]/[JWW形式を開く]ダイアログで拡大率を設定して開くことができます。



2.図枠の文字

図面内に記入する文字は、[図形]タブ-[文字]で図枠ごとに直接記入する方法の他、図面のプロパティとリンクした文字を入力する方法があります。リンク文字の場合、図面のプロパティに入力した値が図枠に反映されます。

図面のプロパティの値は、プロパティで直接編集する方法とExcelファイルから参照する方法があります。

値を直接入力、またはExcelファイルから値を参照します。

図面のプロパティとリンクした文字列が入力できます。

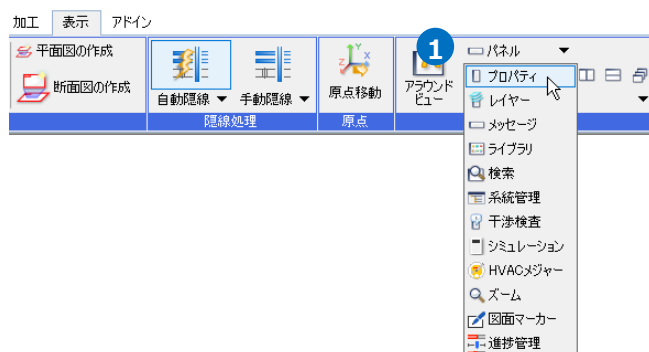
縮尺	1/30	工事名称	Aビル新築工事	承認	検図	製図
担当者	〇〇 〇〇	図面名称	熱源・空調機械室 ダクト断面図	××	△△	〇〇
		日付	20××/01/11			
		図番	0000-02			

図面のプロパティの設定

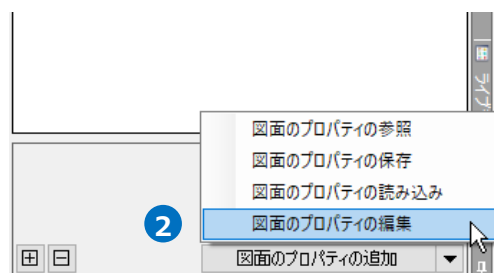
図面のプロパティに直接図枠に必要な項目を追加、編集をします。

- 1 [表示]タブ-[パネル]-[プロパティ]をクリックします。

図面上で要素が選択されている場合は、選択を解除して開きます。



- 2 [図面のプロパティの追加]横の[▼]-[図面のプロパティの編集]をクリックします。



③ [図面のプロパティの編集]ダイアログで図枠内に必要な項目の追加や編集を行います。

- ・[追加]—項目を新たに追加します。
- ・[編集]—既存の項目を編集します。
- ・[削除]—既存の項目を削除します。

Memo

「物件情報」に入力した情報は、ファイル内のすべてのレイアウトに反映します。

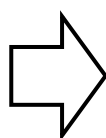
「図面情報」は、レイアウトごとに情報を入力することができます。

図面全体で共通の値を設定できます。

レイアウト単位で値を設定できます。

● 補足説明

[図面のプロパティの追加/編集]ダイアログで項目の追加や編集、値の設定を行うことができます。



[初期値]に入力した値が初期値で設定されます。

[値の候補]に入力した値から選択できます。

④ ダイアログを[OK]で閉じると、編集した内容がプロパティに反映します。

図枠に反映したい値を直接入力します。

Memo

[設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]-[ツール]-[図面のプロパティ]で新規図面に対する図面のプロパティの設定をすることができます。

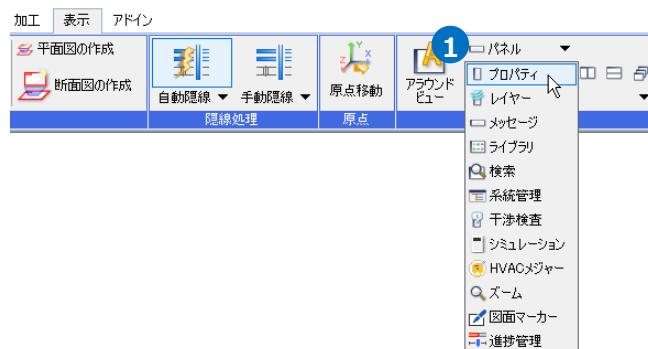
図面のプロパティの参照

図面のプロパティの項目や値を直接プロパティに入力するのではなく、Excelファイルから参照して図面に反映します。

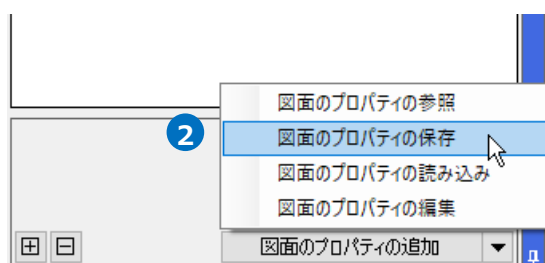
参照用のExcelファイルの作成

- 1 [表示]タブ-[パネル]-[プロパティ]をクリックします。

図面上で要素が選択されている場合は、選択を解除して開きます。



- 2 [図面のプロパティの追加]横の[▼]-[図面のプロパティの保存]をクリックし、Excelファイルの保存場所を指定します。



- 3 出力したExcelファイルを開き、図枠に反映したい値を入力して上書き保存します。

ファイル名	レイアウトグループ名	レイアウト名	図面名称	図面番号	作成日	縮尺	担当者	承認者	検図者	作成者	メモ
空調機械室	平面全体図	熱源・空調機械室	平面全体図	0000-01	20××/01/1/30	〇〇	〇〇	××	△△	〇〇	
空調機械室	ダクト断面図	熱源・空調機械室	ダクト断面図	0000-02	20××/01/1/30	〇〇	〇〇	××	△△	〇〇	
空調機械室	配管断面図	熱源・空調機械室	配管断面図	0000-03	20××/01/1/30	〇〇	〇〇	××	△△	〇〇	
空調機械室	機器配置図	熱源・空調機械室	機器配置図	0000-04	20××/01/1/30	〇〇	〇〇	××	△△	〇〇	
空調機械室	レイアウト1										
各階	1FL										
各階	2FL										
各階	3FL										
各階	4FL										
各階	5FL										
各階	RFL										
各階	建物全体										

図面のプロパティの[物件情報]に反映

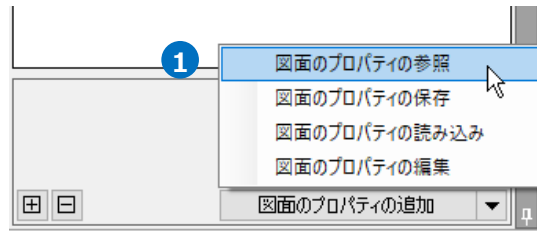
項目を追加

値を入力

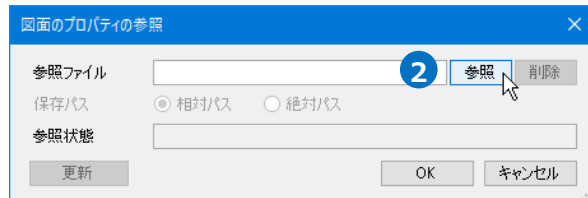
図面のプロパティの[図面情報]に反映

図面のプロパティの参照の設定

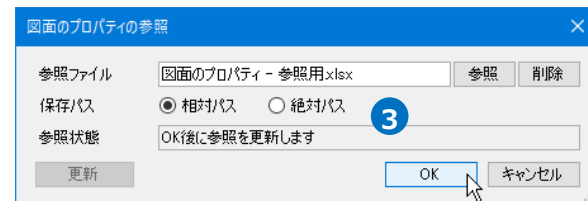
- 1 [図面のプロパティの追加]横の[▼]-[図面のプロパティの参照]をクリックします。



- 2 [参照]をクリックし、Excelファイルを選択します。



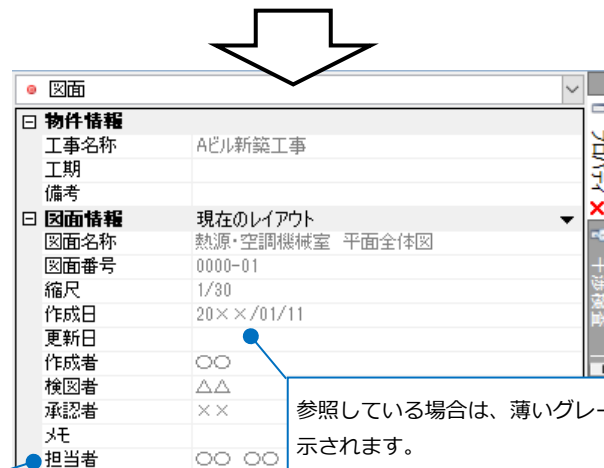
- 3 [保存パス]を選択し、[OK]をクリックします。
→図面のプロパティにExcelファイルの値が参照されます。



Memo

他のPCへ図面を送付する場合は、「相対」パスにし、図面と参照しているExcelファイルを送付します。

「絶対」パスにすると参照しているExcelファイルの保存場所が変わると参照することができないため、再度参照ファイルの選択が必要です。



参照ファイルで新規に追加した項目

参照している場合は、薄いグレーで表示されます。
プロパティ上で値を直接入力していた場合も参照している値が優先されます。参照している値はプロパティ上で直接編集することはできません。

● 補足説明

[図面のプロパティの追加]横の[▼]-[図面のプロパティの読み込み]でExcelファイルの内容を直接読み込み、図面のプロパティに反映することができます。

● 補足説明

各シートの先頭列「ファイル名」「レイアウトグループ名」「レイアウト名」までは、参照対象となる図面を判断するキーとなる列のため、列を削除したり、非表示にしたりすると参照することができません。

特定のファイルやレイアウトグループ、レイアウトに依らずに情報を反映したい場合は、セルを空にしておきます。空のセルは、「すべて」を表します。

上の行から順番にキーを確認していき、一致するファイル名、レイアウトグループ名、レイアウト名があればその行に設定された値を反映し、以降の行は参照しません。

1	A	B	C	D	E	F	G
2	ファイル名	工事名称	工期	備考			
3	Aビル図面	Aビル新築工事					
4							
5							
6							
7							
8							
9							

ファイル名の拡張子
「.reb」は省略可能



Aビル図面.reb

図面

物件情報

工事名称 Aビル新築工事

工期

備考

図面情報

現在のレイアウト

「ファイル名」に一致する
ファイルのみに反映

Bビル図面.reb

図面

物件情報

工事名称

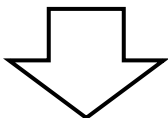
工期

備考

図面情報

現在のレイアウト

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
2	ファイル名	レイアウトグループ名	レイアウト名	図面名称	図面番号	縮尺	作成日	更新日	担当者	検図者	承認者	メモ
3		レイアウトグループ1		Aビル新築工事								
4		各階	1FL	1F平面図	0000-01	1/100			〇〇 〇〇			
5		各階	2FL	2F平面図	0000-02	1/100			×× ××			
6		各階	3FL	3F平面図	0000-03	1/100			△△ △△			
7												
8												
9												



「各階」グループ内のレイアウトはそれぞれ
の該当する行の内容が反映

プロパティ

図面

物件情報

工事名称 Aビル新築工事

工期

備考

図面情報

現在のレイアウト

図面名称 Aビル新築工事

図面番号

縮尺

作成日

更新日

作成者

検図者

承認者

メモ

担当者

システム

物件情報

カテゴリ

図面のプロパティの追加

「レイアウトグループ1」
グループ内のレイアウト
はすべて同じ図面情報

プロパティ

図面

物件情報

工事名称 Aビル新築工事

工期

備考

図面情報

現在のレイアウト

図面名称 1F平面図

図面番号 0000-01

縮尺 1/100

作成日

更新日

作成者

検図者

承認者

メモ

担当者 〇〇 〇〇

システム

物件情報

カテゴリ

図面のプロ

プロパティ

図面

物件情報

工事名称 Aビル新築工事

工期

備考

図面情報

現在のレイアウト

図面名称 2F平面図

図面番号 0000-02

縮尺 1/100

作成日

更新日

作成者

検図者

承認者

メモ

担当者 ×× ××

システム

物件情報

カテゴリ

図面のプロ

プロパティ

図面

物件情報

工事名称 Aビル新築工事

工期

備考

図面情報

現在のレイアウト

図面名称 3F平面図

図面番号 0000-03

縮尺 1/100

作成日

更新日

作成者

検図者

承認者

メモ

担当者 △△ △△

システム

物件情報

カテゴリ

図面のプロパティの追加

レイアウトグループ1

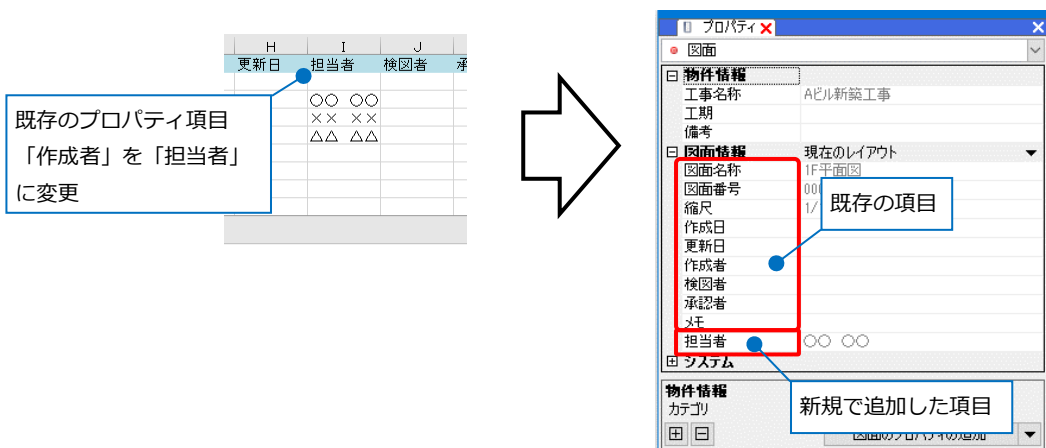
レイアウトグループ1

レイアウトグループ1

平面図 4方向図 平面全体図

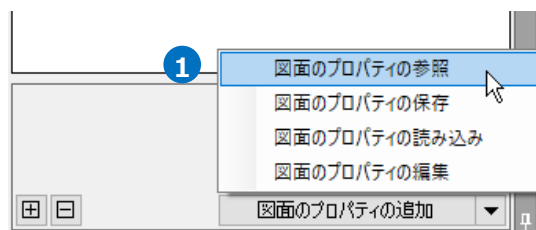
参照ファイルで新規に項目名を追加した場合、新規項目は既存項目の下に表示されます。参照を解除すると項目は削除されます。

参照ファイルから図面上で設定しているプロパティの項目を削除したり、順番を変更することはできません。[図面のプロパティの編集]で編集をします。(p.5～6参照)

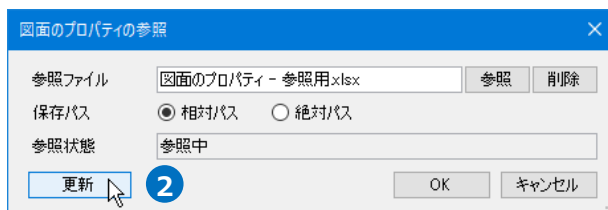


図面のプロパティの参照の更新

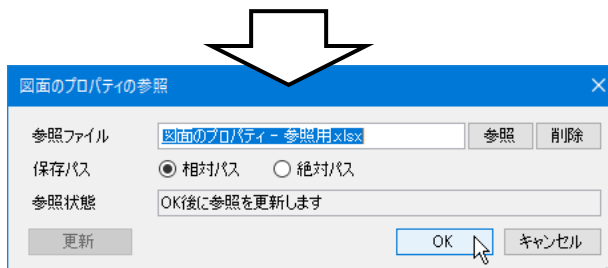
- 1 [図面のプロパティの追加]横の[▼]-[図面のプロパティの参照]をクリックします。



- 2 [更新]をクリックし、[OK]をクリックします。
→参照ファイルの最新の状態に更新されます。



Memo
図面を開いた時や保存、印刷時にも自動で更新されます。



図面のプロパティの記入

図枠内に図面のプロパティにリンクした文字列を記入します。

- 1 [ホーム]タブ-[図面のプロパティの記入]をクリックします。

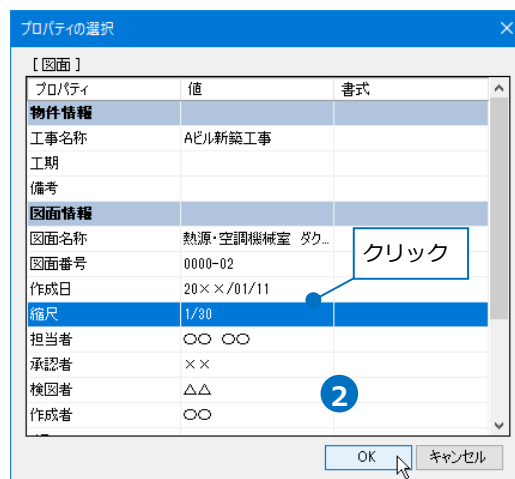


- 2 [プロパティの選択]ダイアログで図枠に記入したい内容を選択し、[OK]をクリックします。

Memo

[システム]の「現在の日時」は、ファイルを開いた時や保存(外部ファイル保存を含む)した時の他、印刷や画面キャプチャ、文字編集などを行った時に更新されます。

「ファイルの更新日時」は、現在のファイルを上書き保存して更新した際に更新されます。



- 3 文字の記入位置を指定します。

縮尺	1/30	工事名称
担当者		図面名称
		日付
		図番

● 補足説明

[図面のプロパティの記入]で記入したプロパティ項目に値が入っていない場合は、図面上には“ {項目名} ”と表示されます。モデルモードに切り替えると、非表示になります。

プロパティ項目に値が入ると、[図面のプロパティの記入]で記入したリンク文字に値が表示されます。

図面	
物件情報	
工事名称	Aビル新築工事 ①
工期	
備考	
図面情報	現在のレイアウト
図面名称	熱源・空調機械室 配管断面図 ②
図面番号	③
作成日	④
縮尺	1/30 ⑤
担当者	⑥
承認者	
検図者	
作成者	
メモ	

ペーパーモード

縮尺	1/30 ⑤	工事名称	Aビル新築工事 ①
担当者	(担当者) ⑥	図面名称	熱源・空調機械室 配管断面図 ②
		日付	{作成日} ④
		図番	{図面番号} ③

モデルモード

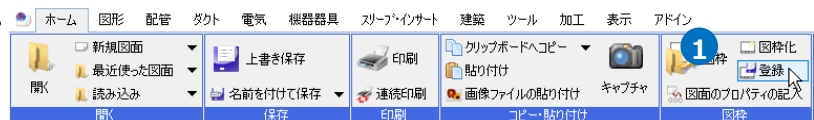
縮尺	1/30	工事名称	Aビル新築工事
担当者		図面名称	熱源・空調機械室 配管断面図
		日付	
		図番	

3.図枠の登録

図枠の登録

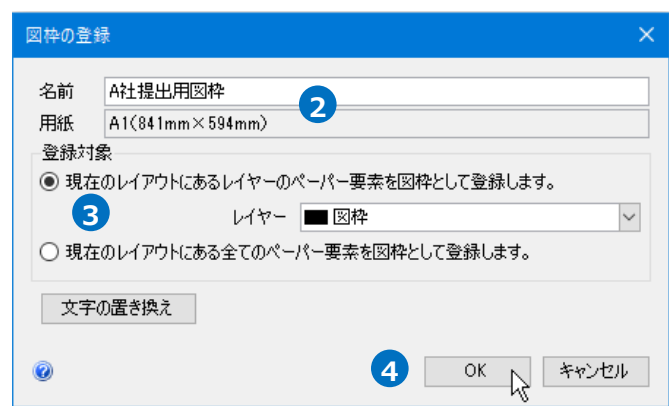
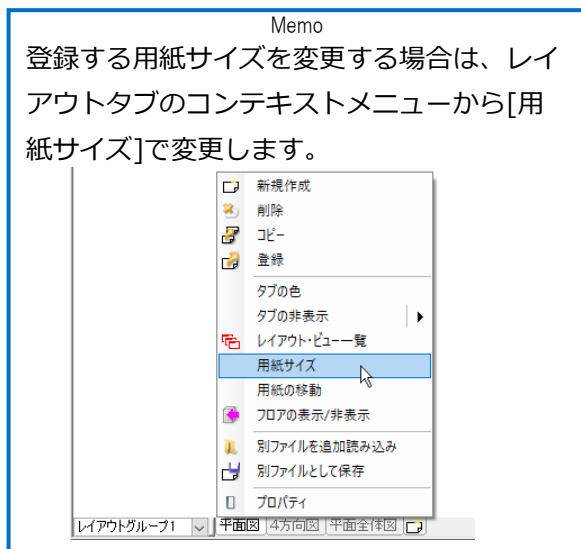
作成した図枠を登録することで同じ図枠を複数のレイアウトや図面に反映することができます。

- ① [ホーム]タブ-[登録]をクリックします。



- ② [名前]に図枠名を入力します。

[用紙]は、現在開いているレイアウトの用紙サイズが表示されます。



- ③ [登録対象]を選択します。

- ・「現在のレイアウトにあるレイヤーのペーパー要素を図枠として登録します。」
→指定したレイヤーのペーパー要素を図枠として登録します。
- ・「現在のレイアウトにある全てのペーパー要素を図枠として登録します。」
→現在開いているレイアウトにあるすべてのペーパー要素を図枠として登録します。

- ④ [OK]をクリックします。

→図枠が登録されます。

● 補足説明

登録する図枠内に文字([図面のプロパティの記入]で作図したリンク文字は除く)がある場合、[文字の置き換え]で図枠を反映する際に内容を変更して読み込むことが可能です。

文字	タイトル
図 番	
△△	検図
Aビル新築工事	工事名称
担当者	
縮尺	
工事名称	
図面名称	
日 付	
〇〇	製図
承認	
検 図	
製 図	
熱源・空調機械室 ダクト断...	図面名称
20××/01/11	日付
0000-02	図番
× ×	承認
〇〇 〇〇	担当者
1/30	縮尺

図枠上の文字が表示されます。

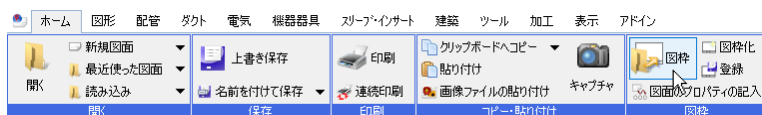
縮尺	1/30	工事名称	Aビル新築工事
担当者	〇〇 〇〇	図面名称	熱源・空調機械室 ダクト断面図
		日 付	20××/01/11
		図 番	0000-02

4.登録した図枠の読み込み

登録した図枠を読み込む

登録した図枠を図面に反映します。

- 1 [ホーム]タブ-[図枠]をクリックします。



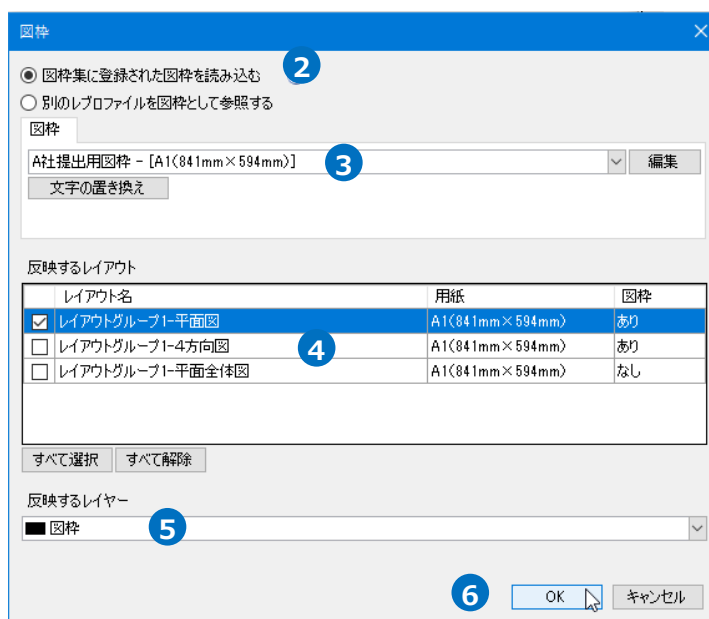
- 2 「図枠集に登録された図枠を読み込む」を選択します。

- 3 [図枠]から使用する図枠名を選択します。

- 4 [反映するレイアウト]で図枠を読み込むレイアウトにチェックを入れます。

- 5 [反映するレイヤー]を指定します。
指定したレイヤー内にペーパー要素があった場合、その要素を削除して選択した図枠を読み込みます。

- 6 [OK]をクリックします。
→図枠が読み込まれます。



● 補足説明

[文字の置き換え]で図枠登録時にタイトルを設定した文字列(p.13参照)に対して、値を設定することができます。

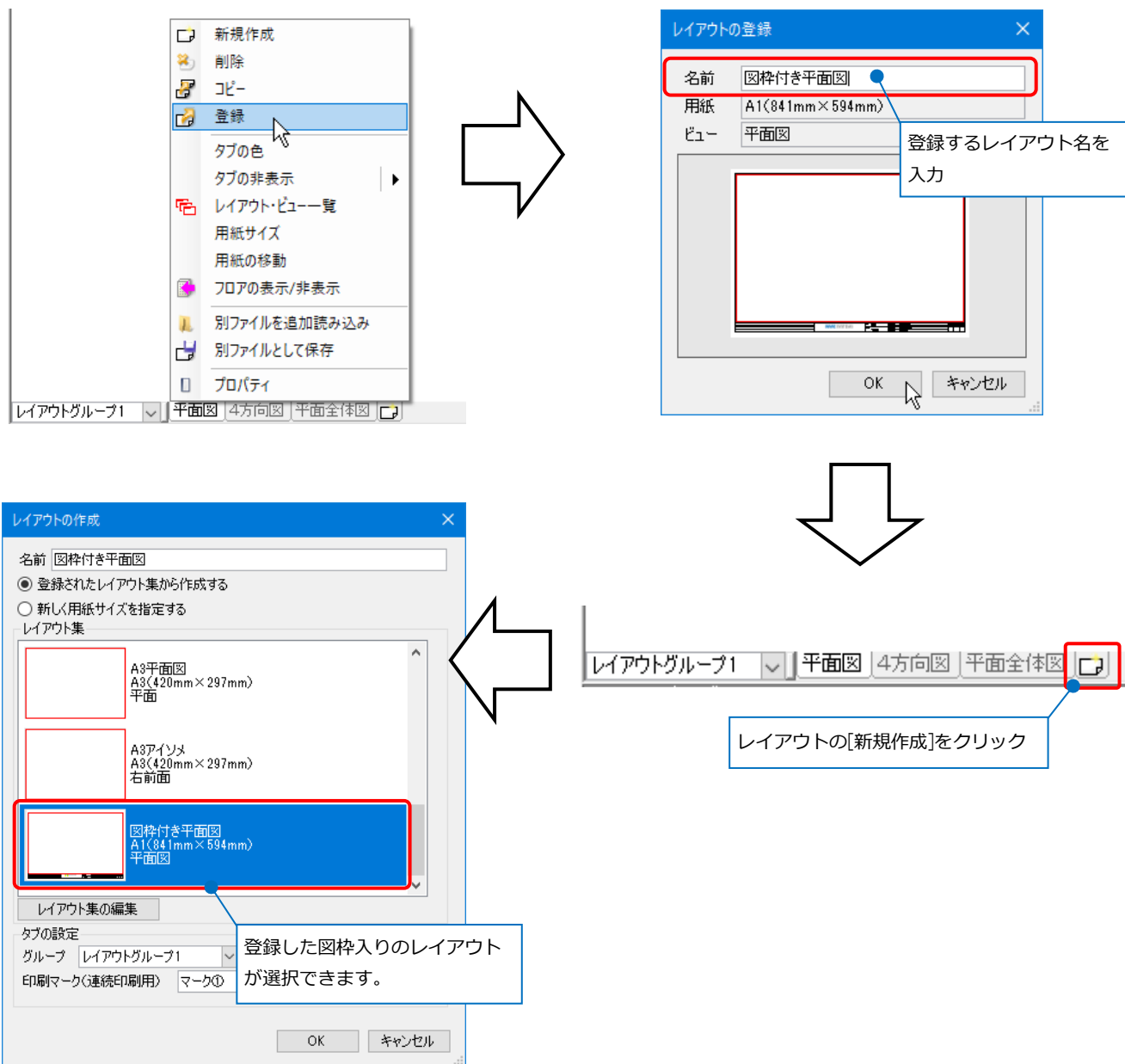
図枠登録時に設定した
タイトル

読み込む図枠に反映
する内容

タイトル	文字
検図	
工事名称	ABC空調工事
製図	
図面名称	空調平面図
日付	20××/01/11
図番	0100-000
承認	
担当者	〇〇 〇〇
縮尺	1/50

- 補足説明

図枠を設定したレイアウトをレイアウト集に登録すると、レイアウトの新規作成で呼び出すことができます。

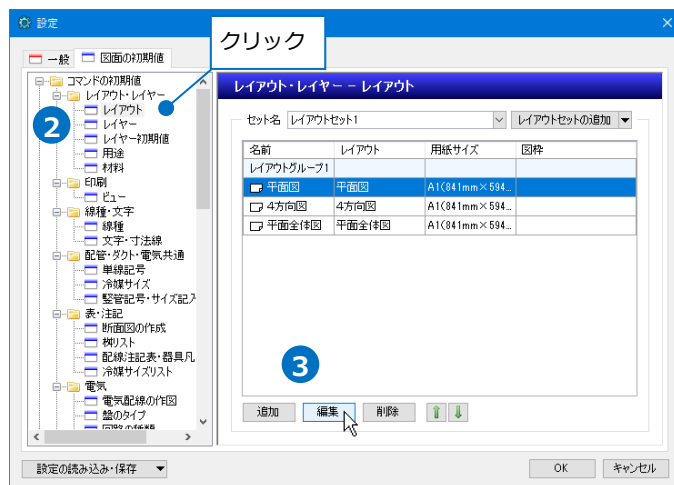


登録した図枠を新規図面に設定する

- 1 [ホーム]タブ-[設定]をクリックします。



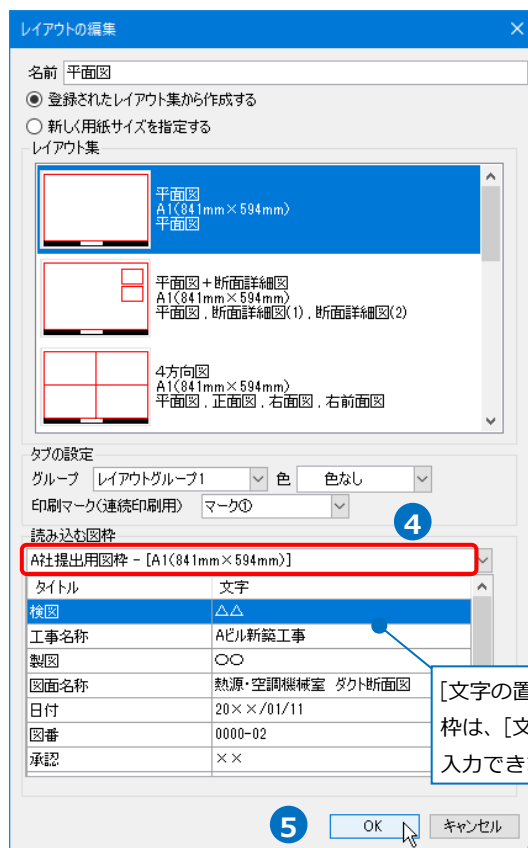
- 2 [図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]-[レイアウト・レイヤー]-[レイアウト]をクリックします。



- 3 図枠を設定するレイアウトを選択し、[編集]をクリックします。

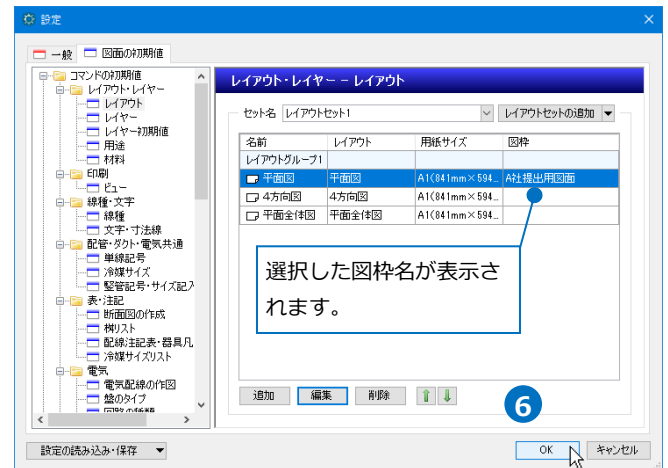
- 4 [読み込む図枠]で使用する図枠名を選択します。

- 5 [OK]をクリックします。

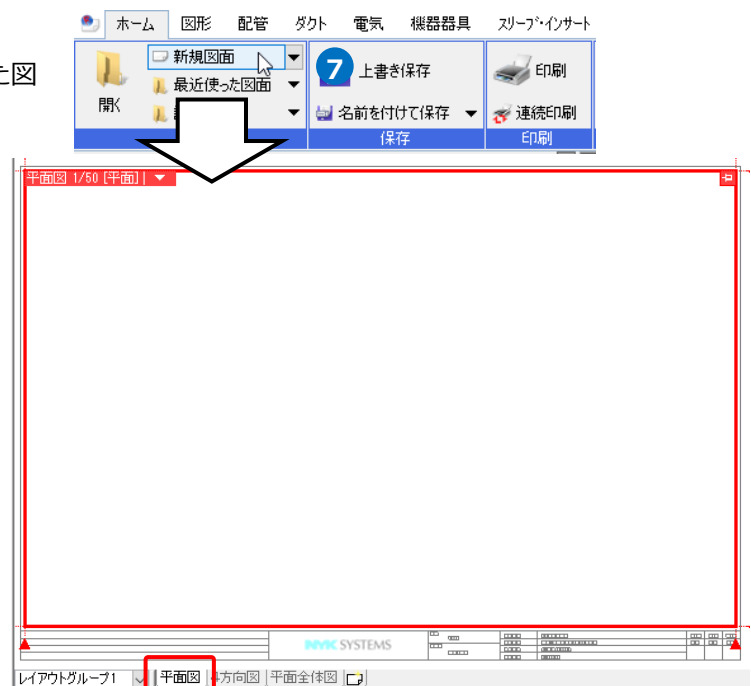


[文字の置き換え]を登録した図枠は、[文字]に読み込む内容を入力できます。

- 6 選択したレイアウトに図枠が設定されます。
[OK]をクリックします。

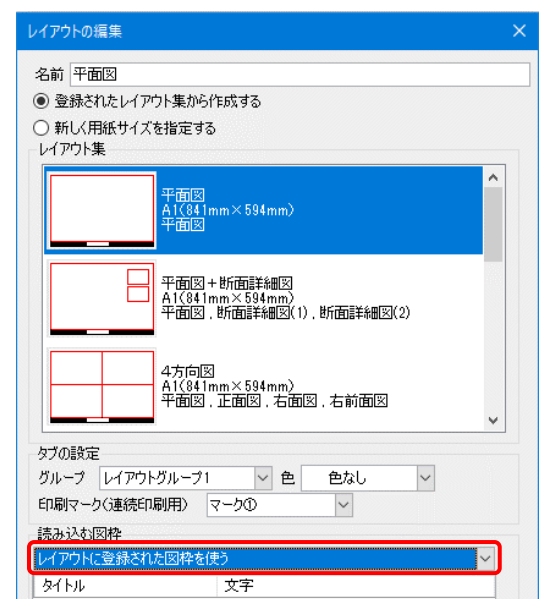


- 7 [ホーム]タブ-[新規図面]をクリックします。
→新規図面のレイアウト「平面図」に設定した図
枠が表示されます。



● 補足説明

レイアウト集に図枠付きのレイアウトを登録している場合は、
[読み込む図枠]で「レイアウト集に登録された図枠を使う」
を選択すると、登録されている図枠をそのまま使用できます。

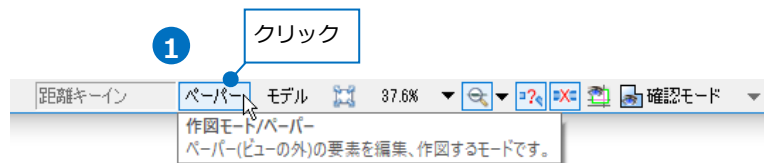


5.図枠の編集

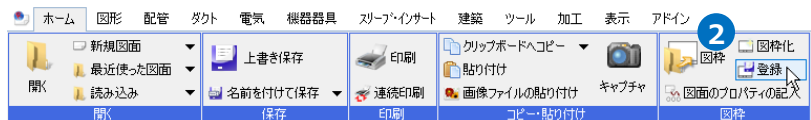
登録した図枠の上書き

既に登録済みの図枠を編集し、内容を上書きします。

- 1 図枠を編集するレイアウトを表示し、
[ペーパー]モードに切り替え、編集を行います。



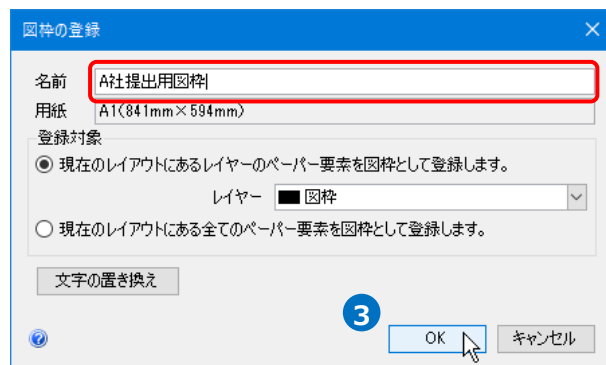
- 2 [ホーム]タブ-[登録]をクリックします。



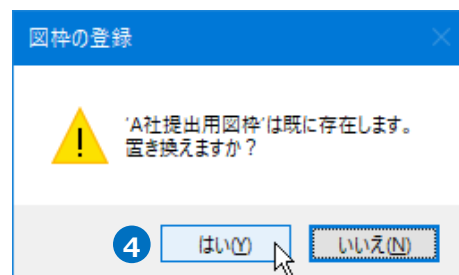
- 3 [名前]に上書きする既存の図枠名を入力し、[OK]をクリックします。

Memo

既存の図枠名は、[図枠集の編集]ダイアログで確認できます。下記「登録した図枠名の変更」を参照してください。



- 4 [図枠の登録]ダイアログが表示されます。
[はい]をクリックします。
→図枠が上書きされます。



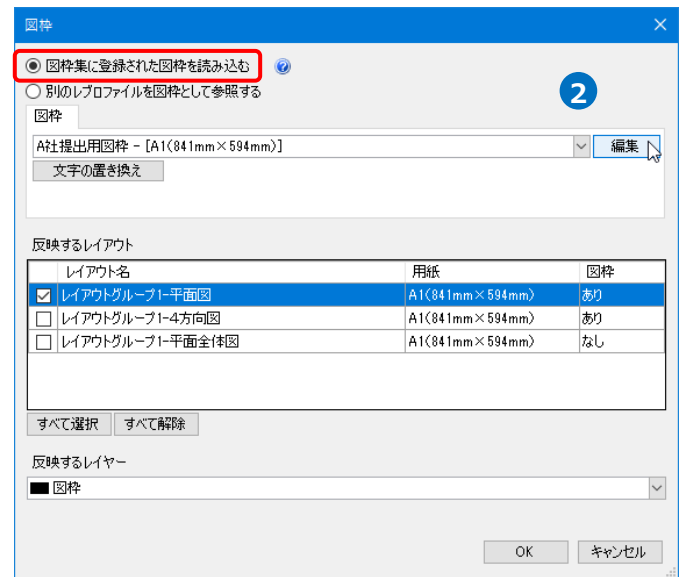
登録した図枠名の変更

既に登録済みの図枠の名前を変更します。

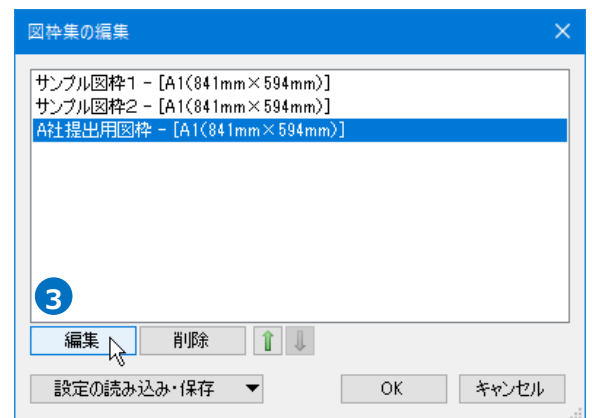
- 1 [ホーム]タブ-[図枠]をクリックします。



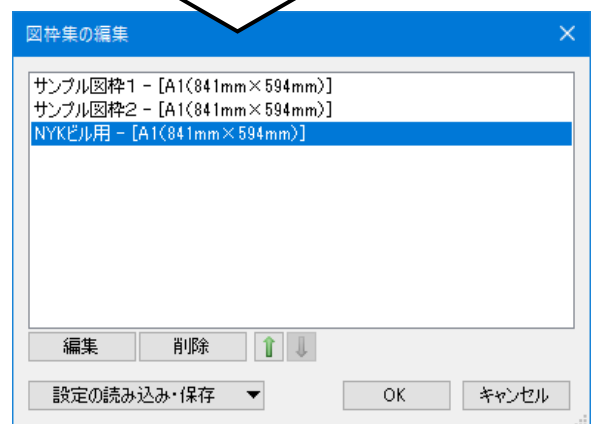
- ② 「図枠集に登録された図枠を読み込む」を選択し、[編集]をクリックします。



- ③ 変更する図枠名を選択し、[編集]をクリックします。



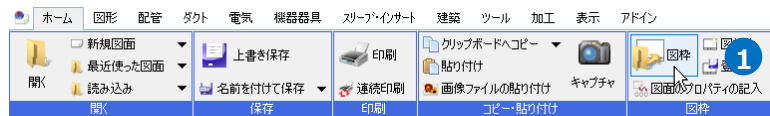
- ④ 図枠名を変更し、[OK]をクリックします。
→変更した名前が反映されます。



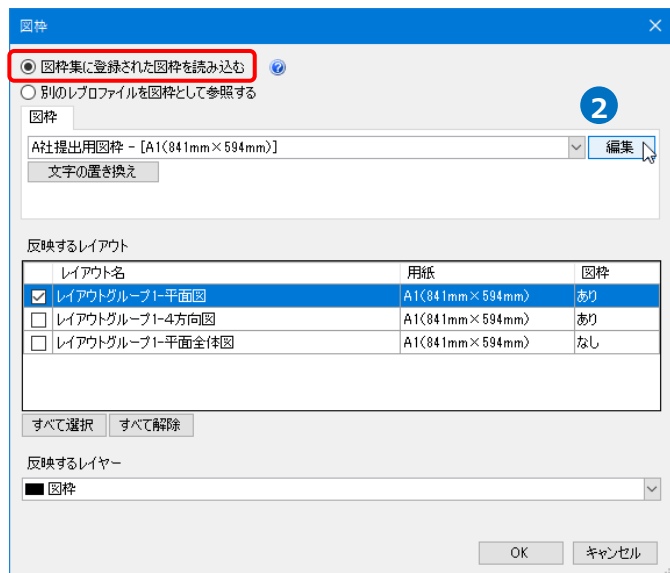
登録した図枠の削除

登録済みの図枠を削除します。

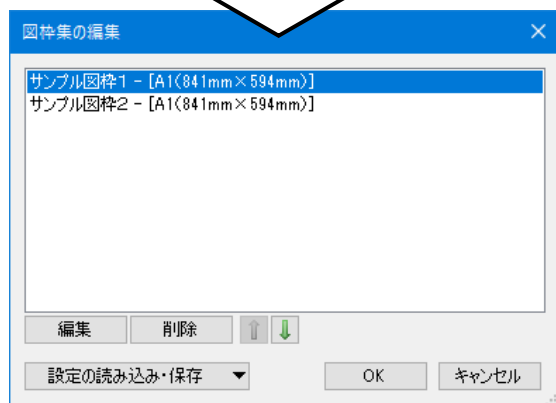
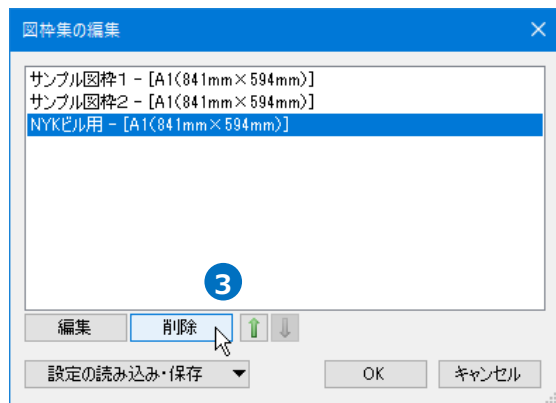
- ① [ホーム]タブ-[図枠]をクリックします。



- ② 「図枠集に登録された図枠を読み込む」を選択し、[編集]をクリックします。



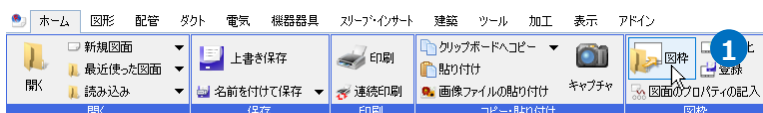
- ③ 削除する図枠名を選択し、[削除]をクリックします。
→図枠が削除されます。



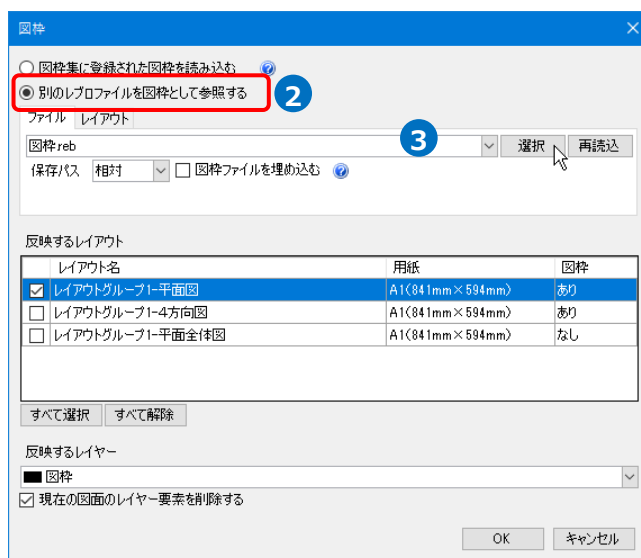
6.図枠の参照

図枠を図面に直接読み込むのではなく、他のレブロファイルの図枠(ペーパー要素)を参照して表示することができます。参照した図枠を編集する場合は、参照先の図面での編集が必要です。

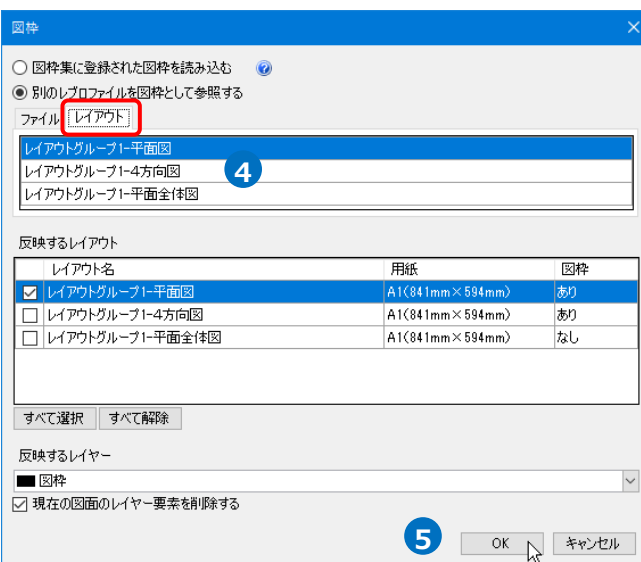
- ① [ホーム]タブ-[図枠]をクリックします。



- ② 「別のレブロファイルを図枠として参照する」を選択します。



- ③ [選択]をクリックし、参照したい図枠のあるレブロファイルを指定します。



- ④ [レイアウト]タブに切り替え、参照したい図枠のレイアウトを選択します。

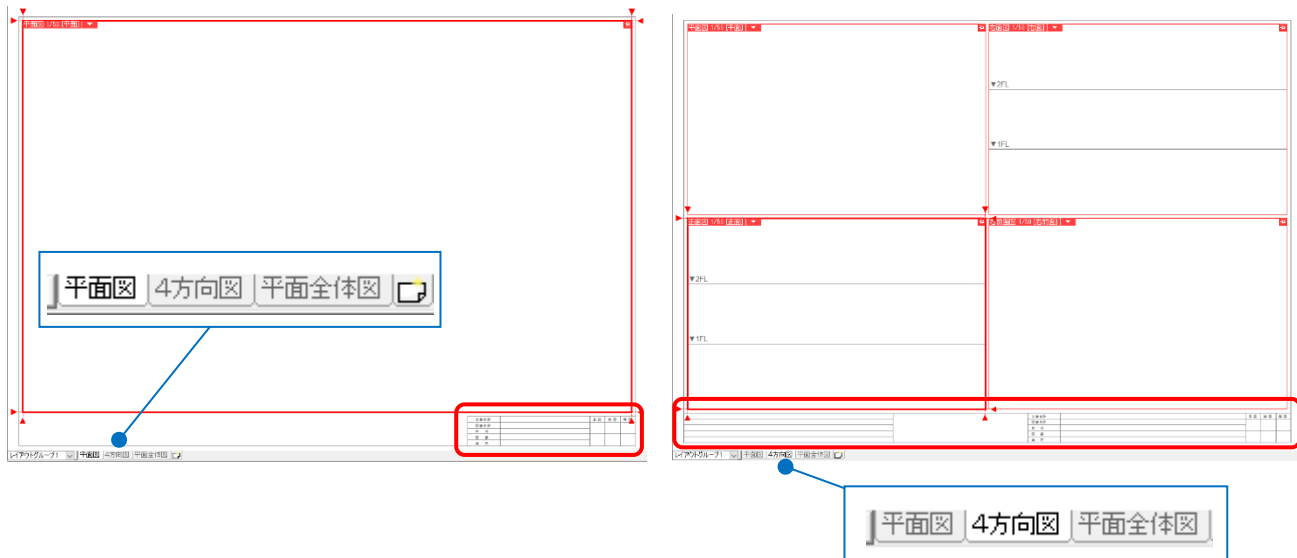
- ⑤ [反映するレイアウト]から図枠を反映したいレイアウトにチェックを入れ、[OK]をクリックします。

→指定したファイルの図枠が参照されます。

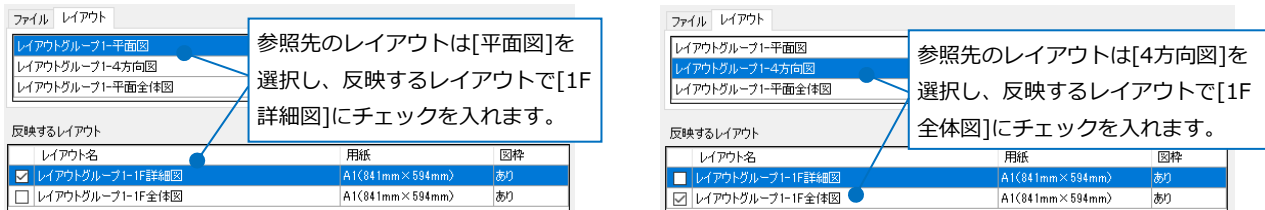
● 補足説明

参照できるファイルは1枚のみですが、レイアウトは複数参照可能です。

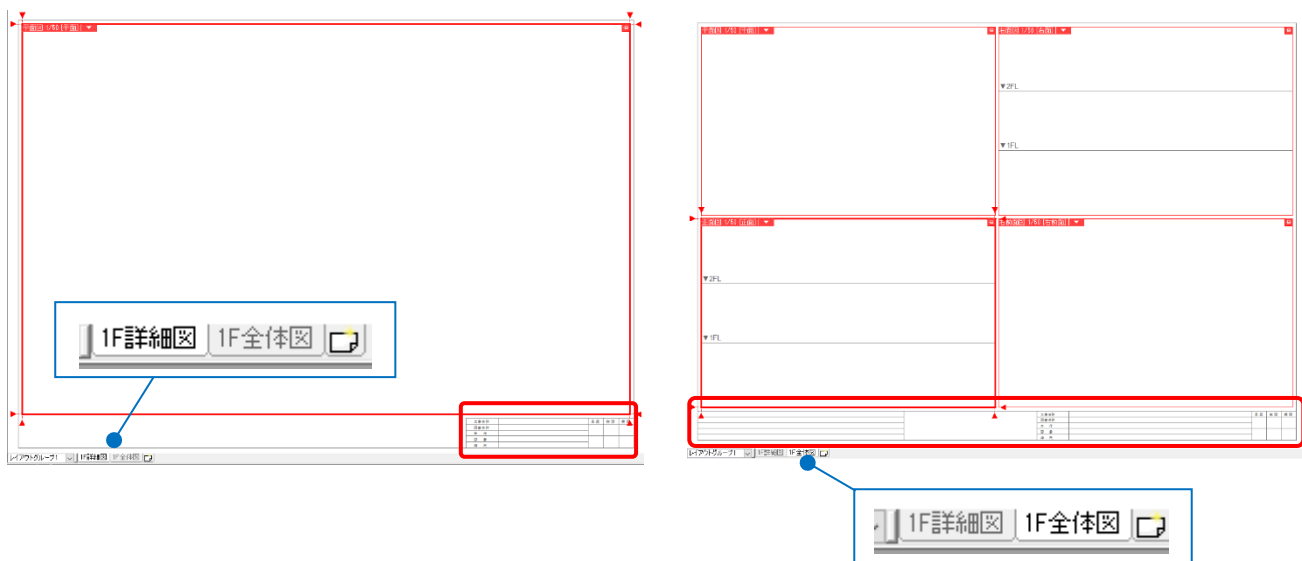
(例)参照先図面で平面図と4方向図のレイアウトに異なる図枠が設定されていた場合



[レイアウト]タブで参照するレイアウトごとに反映するレイアウトを指定します。

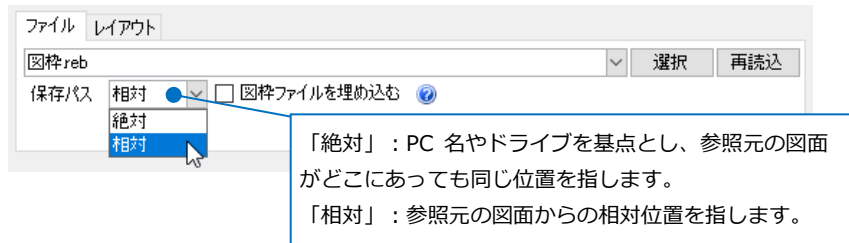


指定したレイアウトに設定されていた図枠がレイアウトごとに反映されます。

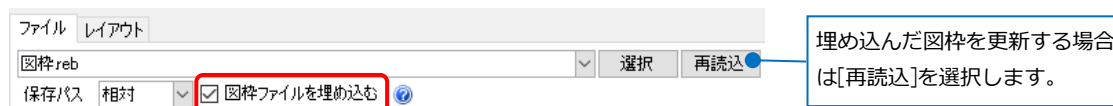


● 補足説明

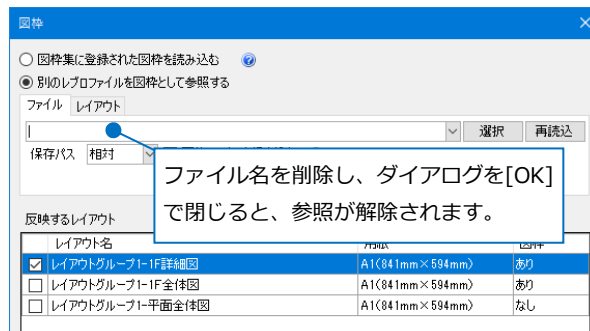
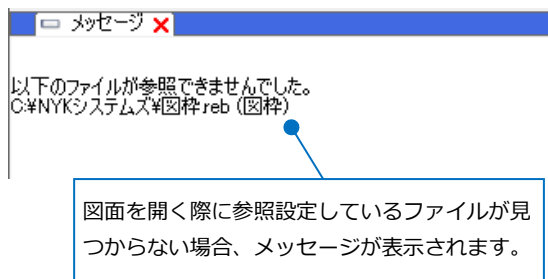
図面を他のPCに受け渡す場合、保存パスを[相対]にします。相対の場合、図面ファイルと図枠用ファイルの相対的な位置関係が変わらなければ、ファイルを移動しても参照し続けることができます。例えば、同じフォルダに図面と参照用の図枠ファイルを入れ、フォルダごと受け渡すと他のPCでも同じように図枠を参照できます。



[図枠ファイルを埋め込む]にチェックを入れると、図枠用ファイルを作図図面に埋め込み、参照先のファイルがなくても図枠が表示されるようになります。



参照設定している図枠のファイルがない場合、図面を開いた時に「参照できませんでした。」とメッセージが表示されます。参照を解除したい場合は、ファイル名を削除します。

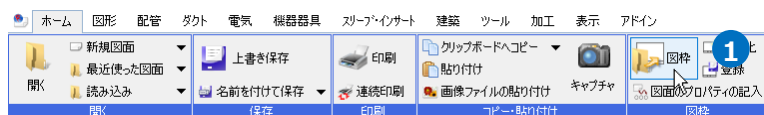


7.図枠ファイルの保存・読み込み

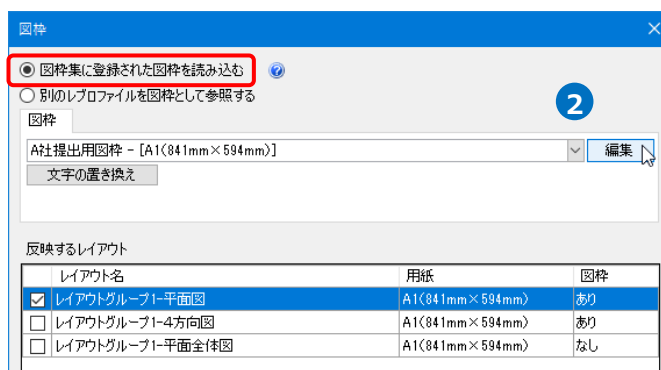
図枠集に登録した図枠は、PCごとに保存されます。登録した図枠集をファイル保存し、他のPCで読み込むことで同じ図枠集を使用することができます。

図枠ファイルの保存

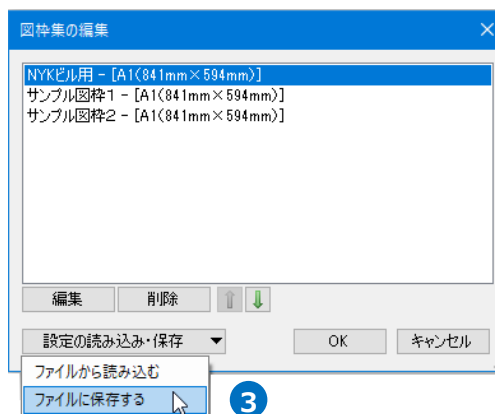
- ① [ホーム]タブ-[図枠]をクリックします。



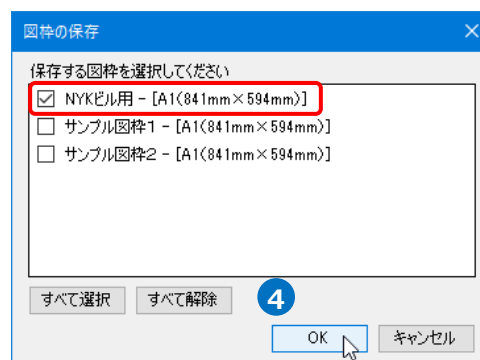
- ② 「図枠集に登録された図枠を読み込む」を選択し、[編集]をクリックします。



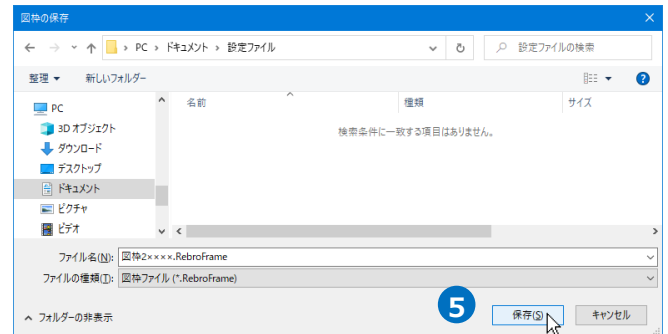
- ③ [設定の読み込み・保存]-[ファイルに保存する]をクリックします。



- ④ ファイルに保存する図枠にチェックを入れ、[OK]をクリックします。

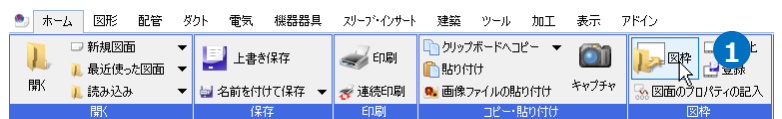


- 5 [図枠の保存]ダイアログでファイル名を付けて
[保存]をクリックします。
→図枠ファイル(*.RebroFrame)が保存されま
す。

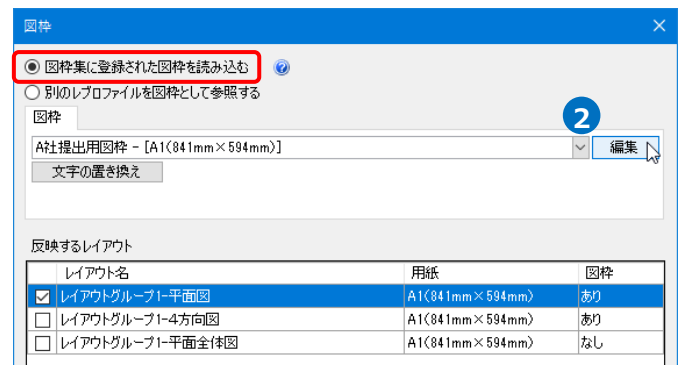


図枠ファイルの読み込み

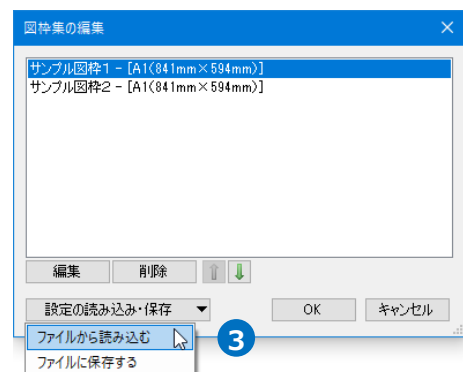
- 1 [ホーム]タブ-[図枠]をクリックします。



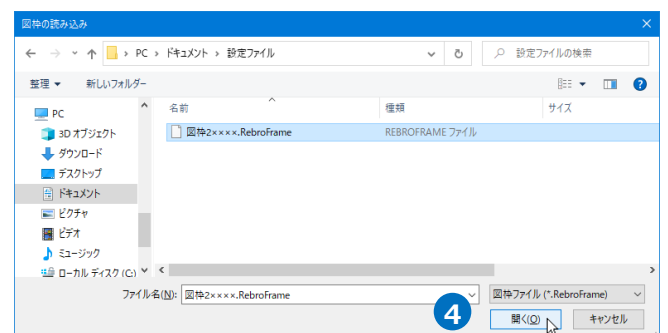
- 2 「図枠集に登録された図枠を読み込む」を選択
し、[編集]をクリックします。



- 3 [設定の読み込み・保存]-[ファイルから読み込む]
をクリックします。



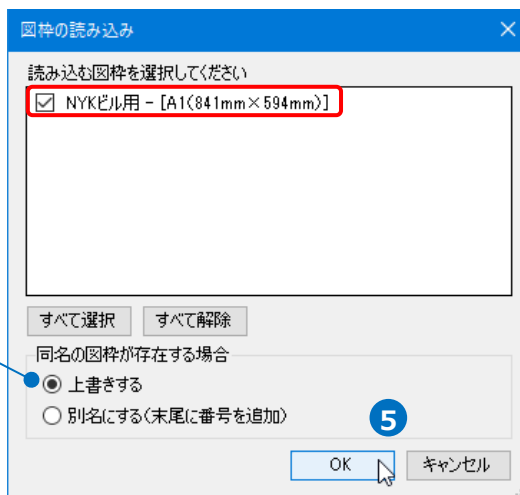
- 4 読み込む図枠ファイルを選択し、[開く]をクリッ
クします。



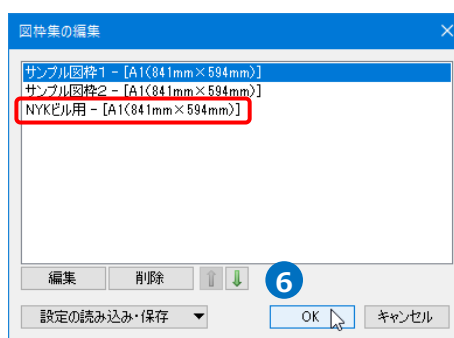
- 5 読み込む図枠にチェックを入れ、[OK]をクリックします。

PCに同名の図枠が保存されている場合、
「上書きする」を指定すると、既存の図枠を読み込む図枠と置き換えます。

「別名にする(末尾に番号を追加)」を指定すると、図枠名の末尾に番号を付けて別の図枠として読み込みます。



- 6 図枠集に図枠が追加されます。
[OK]をクリックします。

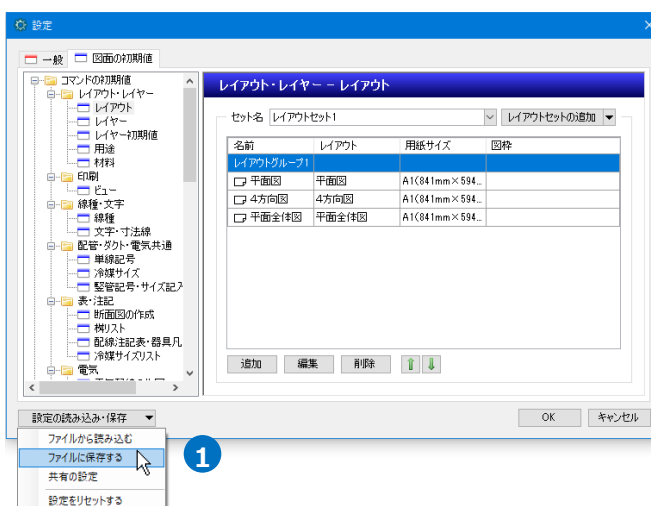


[設定]から図枠集の保存と読み込み

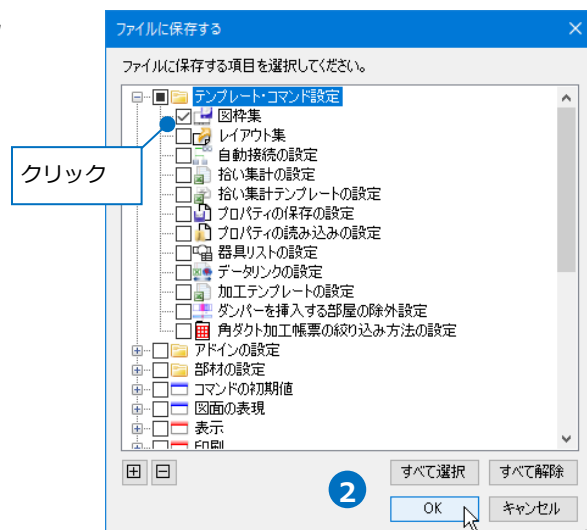
[設定]からPCに保存されているすべての図枠の保存と読み込みができます。

図枠集の保存

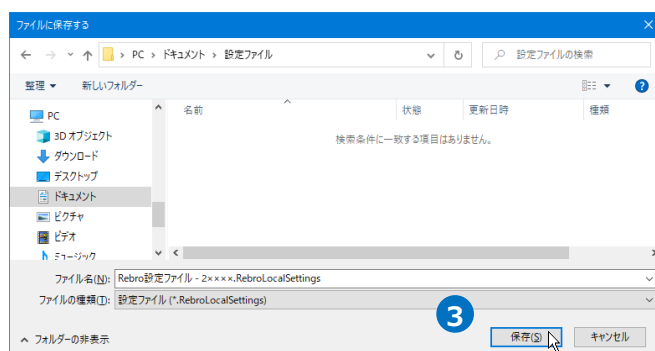
- 1 [ホーム]タブ-[設定]-[設定の読み込み・保存]から
[ファイルに保存する]をクリックします。



- 2 [テンプレート・コマンド設定]-[図枠集]にチェックを入れ、[OK]をクリックします。

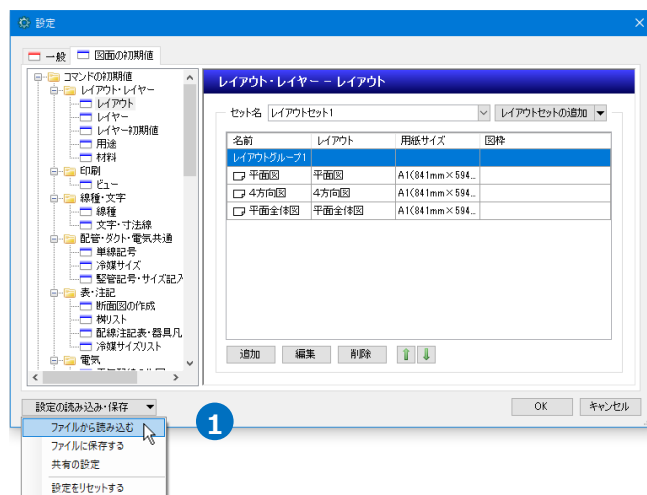


- 3 [ファイルに保存する]ダイアログでファイル名を付けて[保存]をクリックします。
→図枠集が設定ファイル(*.RebroLocalSettings)に保存されます。

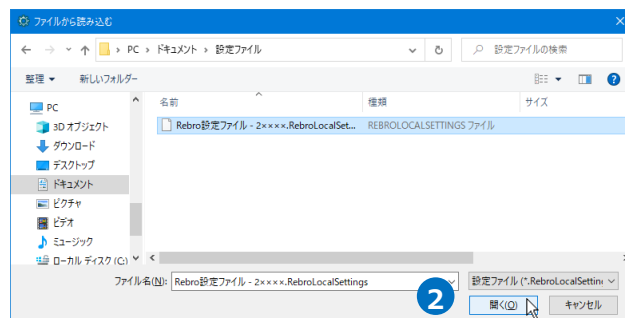


図枠集の読み込み

- 1 [ホーム]タブ-[設定]-[設定の読み込み・保存]から[ファイルから読み込む]をクリックします。



- 2 設定ファイルを選択し、[開く]をクリックします。



- 3 [テンプレート・コマンド設定]-[図枠集]にチェックを入れ、[OK]をクリックします。

クリック

Memo

設定ファイルの読み込みを行うと、図枠集が設定ファイルの内容に差し替わります。既存の図枠を残し、設定ファイルの図枠を追加したい場合は、図枠ファイルの入出力を行ってください。(p.24～26参照)

